

序 文

棚倉町は、東北地方の南部に位置し、八溝山を源流とする久慈川の清流と豊かな自然に恵まれ、古くから東白川地方の中心として、また、棚倉藩の城下町として栄えた歴史と文化の町です。近年は文化遺産を活かした地域づくりに積極的に取り組んでいます。

棚倉城は、棚倉藩主となった丹羽長重が、寛永2年（1625）に、この地に鎮座していた近津明神（馬場都々古別神社）を現在の馬場に遷宮して造営したもので、幕末の戊辰戦争で落城するまで、丹羽長重をはじめとする譜代大名が城主を務めました。

棚倉町教育委員会では、東日本大震災で二ノ丸西面石垣の一部が崩落したことを契機として、保存を目的とした調査事業を実施し、多門櫓の礎石や、戊辰戦争時のものと考えられる焼土や被熱した土壁材等を検出しました。その調査成果から、江戸時代に前期における江戸幕府の奥羽政策と、寛永期の築城形態の有り様を理解する上で貴重であるとして、平成31年2月に、当町では2件目となります国の史跡に指定されました。

これを受けて、棚倉城跡の価値を損なうことなく次世代へと確実に継承するため、今後の適切な保存活用の指針として本計画を策定いたしました。

今後は、この計画に基づき、棚倉城跡の保存・管理や調査研究などを適切に行いながら、当町を代表する遺産として、多くの方々の憩いの場や学習の場、さらには観光資源としての活用を図ってまいりたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたりご尽力を賜りました、棚倉城跡保存活用計画策定委員会の委員の皆様をはじめ、文化庁、福島県教育委員会など関係各位に深く感謝申し上げます。

令和3年3月

棚倉町教育委員会

教育長 松本市郎

例 言

- 1 本書は、福島県棚倉町大字棚倉字城跡他に所在する「棚倉城跡」の保存活用計画である。
- 2 棚倉城跡保存活用計画策定事業は、棚倉町が国庫補助金の交付を受けて、令和元年度～令和2年度の2ヵ年をかけて実施した。
- 3 本計画は、文化庁文化財第二課、福島県教育庁文化財課の指導・助言を得ながら、棚倉城跡保存活用計画策定委員会での検討に基づき、棚倉町教育委員会が策定した。
- 4 本計画書は、棚倉町教育委員会が事業主体となって執筆及び編集した。

目次

第1章 計画の沿革・目的	1
第1節 計画策定の沿革	1
第2節 計画策定の目的	1
第3節 委員会の設置・経緯	1
第4節 他の計画との関係	3
第5節 計画の実施	4
第2章 棚倉町及び棚倉城跡の概要	5
第1節 棚倉町の概要	5
第2節 棚倉城跡の概要	14
第3章 史跡指定の状況	21
第1節 史跡指定の概要	21
第2節 棚倉城跡の植生	28
第3節 発掘調査の概要	31
第4章 棚倉城跡の本質的価値と構成要素	44
第1節 本質的価値の明示	44
第2節 本質的価値を構成する要素	48
第5章 現状・課題	54
第1節 保存（保存管理）の現状と課題	54
第2節 活用の現状と課題	55
第3節 整備の現状と課題	55
第4節 運営・体制の現状と課題	57
第6章 大綱・基本方針	58
第1節 大綱	58
第2節 基本方針	58

第7章 保存（保存管理）	60
第1節 保存（保存管理）の方向性	60
第2節 保存（保存管理）の方法	60
第3節 対象範囲と地区区分	62
第4節 現状変更の取扱方針	64
第5節 保存目的の調査の推進	67
第6節 追加指定と公有地化	67
第8章 活用	68
第1節 活用の方向性	68
第2節 活用の方法	68
第9章 整備	69
第1節 整備の方向性	69
第2節 整備の方法	69
第10章 運営・体制	71
第1節 運営・体制の方向性	71
第2節 運営・体制の整備の方法	71
第11章 施策の推進	73
第1節 短期的に実施すべき施策	73
第2節 中・長期的に取り組むべき施策	73
第12章 経過観察	74
付 章	77
参考資料 柵倉城跡の保存活用に関するアンケートの実施結果について	83

図目次	
第1図 柵倉町の位置図	5
第2図 柵倉城跡航空写真	6
第3図 柵倉城跡と周辺遺跡地図	12
第4図 史跡指定範囲図	24
第5図 推定遺構図	25
第6図 柵倉城跡地籍図	26
第7図 柵倉城跡航空写真	28
第8図 柵倉城跡植生現況図	29
第9図 柵倉城跡発掘調査箇所一覧	31
第10図 柵倉城跡発掘調査出土遺物・遺構	33
第11図 石垣写真測量図	34
第12図 慶応二年奥州柵倉城之図	43
第13図 史跡指定地内の本質的価値を構成する要素	49
第14図 史跡指定地内の本質的価値を構成する要素以外の諸要素	50
第15図 史跡指定地外の本質的価値を構成する要素	51
第16図 史跡指定地外の本質的価値を構成する要素以外の諸要素	51
第17図 柵倉城跡の周辺にあり、柵倉城跡に関連する文化財	52
第18図 柵倉城跡記念碑等現況図	53
第19図 本計画の対象範囲と地区区分	63
第20図 運営・体制のイメージ	72

表目次	
第1表 東白川郡の年間平均気温及び総降水量	7
第2表 柵倉町中世・近世城館一覧	11
第3表 柵倉町の指定文化財一覧表	13
第4表 柵倉城跡関連年表	20
第5表 指定地内の地番と面積	27
第6表 柵倉城跡発掘調査歴一覧	32
第7表 城絵図・城下絵図一覧①	37
第7表 城絵図・城下絵図一覧②	38
第7表 城絵図・城下絵図一覧③	39
第7表 城絵図・城下絵図一覧④	40
第7表 城絵図・城下絵図一覧⑤	41
第7表 城絵図・城下絵図一覧⑥	42
第8表 本計画の対象と地区区分	62
第9表 史跡内の現状変更にかかる許可申請区分一覧表	65
第10表 史跡内における現状変更取扱い方針と基準・周辺地域の区域設定と管理の考え方	66
第11表 保存活用計画総括表	75
第12表 柵倉城跡自己点検表	76